

本間玄調元旦試筆の詩意について

山中 太木

本間うた女史によって本間家伝承の古櫃の中から取出された元旦試筆の一篇の漢詩についてその詩体、字句解、詩意、作詩年代の推定などを試みたい。

(大阪医科大学名誉教授)

明治戊辰戦争越後口派遣会津藩従軍 医師の記録について

蒲原 宏

明治戊辰戦争で敗れた会津藩側の戦傷病者治療記録は、敗戦による戦災と藩の瓦解のため存在しないとされていた。最近、越後口に派遣された、新潟県内の旧会津藩領内の従軍医師の従軍記録を発見することができたのでその概要を報告する。それは次の二つである。

一 佐藤見瑞「越後方面御陣中経験治療録」

佐藤見瑞（一八〇九～一八七八）、諱は延敬。文化六年、会津藩領蒲原郡東山村夷棚（新潟県東蒲原郡上川村夷棚）の農家佐藤若之丞の子として生まる。医学の師系は明らかでないが、漢蘭折衷医として会津藩領郷中医で、明治元年五月二日から七月二日まで、会津藩木村忠右衛門隊付軍医として、越後国東大崎、加茂、栃尾方面の戦闘に参加、前記